

皆さんから寄せられたご意見を紹介します 岡広報対話室

☎63・7402

※紙面の都合上、いただいたご意見を一部修正して掲載しています。

市長への手紙



意見 駅の通路や地下道にたばこ、ビン、缶、袋のポイ捨てが多くて、いやな気持ちになります。週に1回近所の人たちときれいにしていますが、すぐにポイ捨てが繰り返されます。悪いことは悪いと通路に表示してください。名張市もポイ捨てに罰金をとるようにしてください。



市長から 市には、たばこの吸殻や空き缶などの投棄を防止し、清潔で美しいまちづくりを推進する「名張市まちをきれいにする条例」があります。美化活動による啓発やポイ捨て禁止看板の配布などを行っています。

今回のご意見を受けまして、駅を管理している近畿日本鉄道株式会社と協議したところ、ポイ捨て禁止について看板の掲示をしていただけそうです。

また、「罰則」については、同条例のなかで「3万円以上の罰金に処する」と定めていますが、「罰則」は「モラルの向上」が主な目的であるものの、悪質なケースについては警察と連携し摘発に努めてまいります。



意見 将来に向けて介護が必要な市民は、増加の趋势をたどると思われませんが、現在でさえ希望時にすぐに施設に入れない現状です。また、経費が高額のため、だれでも入所とはいかないのではないのでしょうか。



市長から 全国的に特別養護老人ホームなどの待機者が多く、早急な整備が望まれています。市では補助金を出すなどし、民間事業者による特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム、認知症グループホームなど、あわせて400人以上が入所できる施設整備を促進しています。

現在、2つの事業者が、特別養護老人ホームの建設を進めており、平成23年度には、合わせて160人が入所できる施設が完成する予定です。

一方で、入所費用が高額であるといった課題がございます。これについては、市町村単独での対応は難しいので、国が、施設の部屋の面積を縮小して部屋代などの引き下げにつなげることができるよう



意見 設置基準を改めたり、低所得の人の入所費用を軽減する支援策を検討したりしているところですが、多くの人が、施設に入所するよりご自宅で暮らしたいという希望を持たれています。このため、名張市では、まずはお元気で過ごしていただいて介護を受けなくてもよいように、介護予防事業に重点的に取り組んでいます。



市長から 全国的に特別養護老人ホームなどの待機者が多く、早急な整備が望まれています。市では補助金を出すなどし、民間事業者による特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム、認知症グループホームなど、あわせて400人以上が入所できる施設整備を促進しています。

また、介護が必要になってもできる限り自宅で暮らし続けることができるよう、医療と介護が連携した在宅ケアを提供できる体制を推進しています。

意見 コミュニティバス「ナッキー号」が休日運行していないのが残念です。学校が休みのときなど、子どもたちにも自分たちの知らない名張を知るため、また友人が他の地方から来たとき名張を紹介するために便利です。



意見 どこの公園も遊具に使用禁止の黄色のテープが巻かれ使えない状況です。なぜ、いつせいに使用禁止になるのか。行政のやり方に理解ができません。もっと計画的に進めるべきではないでしょうか。遊具が使える希央台の公園まで遊びに行くのが現状の姿です。



市長から 全国的に遊具に起因する事故が多発している現状をうけて国の指針の見直しがあり、点検の結果、使用を中止する必要がある遊具が多数発生しました。

現在、修繕案を作成中ですが、使用中止の遊具が多数ありますので、今年度予算で修繕できるもの、来年度、修繕するもの、一旦撤去しておくものなどに仕分けを行い、できるかぎり早期の実施に努めていきます。

ご不便をおかけしますが、安全のための措置ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

料金受取人
名張支店
承認
19

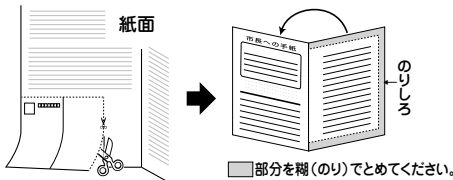
5180490

切手不要
差出有効期間
平成24年3月31日

名張市鴻之台1番町1番地
名張市長 亀井 利克 行

市長への手紙、お待ちしております
名張市のまちづくりについて、市民の皆さんのご意見をお待ちしています。
この手紙は市長が直接拝見し、今後の市政に反映させていただきます。
※皆さんからのご意見は「広報なばり」などで紹介させていただく場合があります。この場合、個人が特定できることのないよう個人情報の取扱いには十分注意します。

市長への手紙に関するお問い合わせは、
企画財政部広報対話室(☎63-7402)へ



講演会「名張市史第1巻
資料編考古を読む」(第
4回)を開催します
岡 総務室市史編さん担当
☎64・2249

日時 2月16日(水)午後6時30分～8時
場所 市民情報交流センター(希央台)
定員 50人 ※先着順
演題 名張の発掘の歴史
講師 門田了二さん(日本考古学会会員)
◎聴講無料。申込不要

